

いさわ



館野さんの指揮で演奏する奥州弦楽アンサンブル

ことしで4回目となるまごころ病院のクリスマスコンサートは12月16日、同院内で開催されました。コンサートを開いたのは、胆沢文化創造センターの講座でチェロの指導をする館野英司さんと、同講座をきっかけに演奏活動を始めた奥州弦楽アンサンブルのメンバー。日曜は休診日であるにもかかわらず、入院患者をはじめ隣接するぬくもりの家の入所者、地域住民などおよそ50人の聴衆が集まり、12曲が演奏されました。ピアノと弦楽器による曲が流れ始めると、聞いている人たちは目を細め、心地良い響きを楽しんでいる様子でした。

まごころ病院でコンサート

# まちの話題



## 水沢競馬場になまはげ登場

来場者に冬の東北の魅力をPR



記念撮影とはいえ、子どもたちにとってなまはげは怖いもの

横手のかまくら&みちのく五大雪まつりデー（焼石観光開発連絡協議会など主催）と題したイベントが12月24日、水沢競馬場で行われました。

イベントの目玉の1つとなった横手のかまくらは、高さ3メートル、直径4メートルと大人でも入れる大きなもの。胆沢区のつづ沼から25トンの雪を運び、かまくら職人が2日かけて作成しました。

午後には、男鹿のなまはげも登場。普段は恐れられているなまはげも、この日ばかりは気軽に来場者との記念撮影に応じていました。会場内には東北地方の名物の出店が並び、買い求める家族連れらが長い行列を作って順番を待っていました。

かまくら前で馬と記念撮影をした丹野柊翔くん(4)は「お馬さんは大きくてびっくりしたけど、怖くなかった。とても楽しかった」とご満悦の様子でした。

ころもがわ

## パソコンで地形を分析する

衣川中で「その道の達人」講演会



画像を説明する古田教授(右)

衣川中学校（高橋昭三校長、生徒149人）で12月12日、文部科学省が各界の専門家を派遣する事業「その道の達人」による講演会が開かれました。

本年度県内から選ばれたのは2校で、同校には「平野の歴史の達人」徳島文理大学の古田昇教授が派遣されました。古田教授は自然地理学・環境歴史学を専門とし、GIS（地図情報システム）を活用した立体画像などを使い、衣川周辺の地勢の特徴を紹介。「画像にすると地上では分からない特徴が見えてくる。みんなにもできるので、パソコンの授業で挑戦しては」と話し、生徒たちの興味を引いていました。

## 県内外の俳句愛好者が集う

前沢で全国俳句大会

旧前沢町出身の俳人、遠藤梧逸（本名・後一）の命日に開催されている梧逸忌全国俳句大会は12月7日、前沢ふれあいセンターで開催されました。

18回目となることしの大会には、席題の部に268句、兼題の部に3,658句の応募がありました。当日会場で募集した席題（当季雑詠）には、来場した県内外の愛好者135人が投句。この席題から選ばれる大会最高賞の梧逸賞には、菅野好子さん＝前沢区字新町＝の「寒禽の啼きつぐ梧逸句碑あたり」が選ばれました。事前に募集した兼題（当季雑詠）は、総数で昨年を464句上回り、うち子どもの部に2,614句が寄せられました。



席題に投句をする句を詠む参加者

みずさわ

## 日高火防祭へ向け本格始動

42歳厄年連の演舞と衣装を披露



きらびやかな衣装で踊る翔末会

平成20年度の奥州水沢42歳厄年連「翔末会」の総会と懇親会は1月1日、プラザイン水沢で開かれ、ことしの日高火防祭で踊る演舞と衣装が披露されました。

会員や恩師ら約250人が出席する中、高橋聡会長が「本番の4月28日、29日には大勢の同級生が集まり、祭りを盛り上げたい」とあいさつ。続いて会員が昨年12月から練習を重ねてきた演舞を初披露し、会場を沸かせました。演舞は、会員が未成年と中年生まれに当たることから、羊と猿が群れをなして動くさまをモチーフに躍動感と一体感のあふれるもの。衣装も、光り輝く金と大地の黒を基調としたデザインになっています。

## 犯罪防止にATM機が一役

岩銀江刺支店に防犯装置

岩手銀行江刺支店(佐藤達哉支店長)は12月14日、ATM（現金自動預払機）コーナーに「こども110番」システムを設置し、周辺が通学路に当たる岩谷堂小学校の児童らが参加して模擬訓練を行いました。

システムは、不審者に追われた人（子ども以外も利用可）が同コーナー内で専用ボタンを押すと、内部の画像と音声警備会社とつながり、外からは自動ドアが開かなくなる仕組み。不審者が侵入しても、警備員が画面を見ながら音声でけん制し、警察に通報します。

同行では現在、日高支店（水沢区）を含む県内20店舗にシステムを設置しており、今後も増やす計画です。



専用の押しボタンを確認する児童

えさし